

2011年3月18日

KCP — 同窓会会報 号外 —

このたびの地震で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。また、心や身体そして生活面でのより早いご回復を心よりお祈り申し上げます。

卒業生・修了生の皆さんへ

皆さんこんにちは。皆さんもすでに知っていると思いますが、3月11日に日本の東北地方で大きな地震がありました。皆さんの国でもかなり大きく報道されているようですね。

この地震のニュースを聞いて、私たちのことを心配して国から電話をかけてくれる卒業生の皆さんもたくさんいます。また、皆さんの国からたくさんの方が、被災地に助けに来て来ています。本当にありがとうございます。

そこで、皆さんに現在の学校や東京の情報をお知らせしようと思い、今回は「同窓会会報」の号外（ごうがい・・・意味のわからない人は、辞書を引いてみてください）を、出すことにしました。

まず、学校ですが、KCP共生日本語学校の建物も、KCP地球市民日本語学校の建物も、下の写真のように破損することなく無事でした。



3月15日に撮影しました

それに、在校生も教職員も一人もケガをせずに元気です。

3月10日に卒業式を迎えた皆さん。皆さんの中には、直接地震を体験した人も多かったと思います。ケガはありませんか。怖い思いをして不安な気持ちでいっぱいの人もいると思いますが、大丈夫ですか。不安だったら、別に卒業した後でもかまいませんから、学校に気分転換に来てください。

そして、今日本に残っている皆さんにとって一番大きな心配事は、原子力発電所の放射能の問題だと思います。また、今日本にいる皆さんよりも、皆さんの母国で原発のことが大きく報道されて、皆さんのご両親や友達などが、ひどく心配されていることと思いますが、現地には限り、放射能も微量で体には影響ないようです。

心配な人は次の文章を読んで少し安心してください。

①東京への影響

日本の上空は、偏西風という西風が吹いています。福島原発は東京のほぼ真北約200キロのところにあります。ですから、福島原発で放射性物質が出たとしても、基本的には西風に吹き飛ばされてしまい、東京へ来ることは、ほとんどありません。たとえ、北風が吹いて東京へ来たとしても、東京までの200キロの間に十分に薄められて、人体に影響を及ぼすレベルをはるかに下回るレベルになっています。

東京への影響が全くないとはいいませんが、身体を悪くする量の放射線を浴びるようなことはありませんし、避難しなければならないような状況にもならないでしょう。

②水素爆発

原発で水素爆発が何度も起きていますが、これも心配しなくて大丈夫です。水素爆発によって、たまっていた力が、外に出され、全体の力が弱まり、反応器そのものが爆発することを防いでいるのです。水素爆発は、確かに大きな破壊力があり、火柱も上がるでしょう。でも水素爆発では、建屋が壊れるだけで、その反応とはH₂O、すなわち水ができる反応です。水素爆発の現場のそばにいる人は恐いでしょうが、東京のように離れたところには影響は全くありません。また、原子炉は水素爆発の力だけでは壊れません。

③原子炉の現状

福島原発の原子炉は、チェルノブイリ原発とは違うタイプの原子炉で、チェルノブイリのような原子炉の壊れ方はしません。

東京は、今はまだ、電車の本数がいつもより少ないので、多少不便なところはありますが、ほとんど普段と変わらない生活をしています。

以上、いろいろ心配して下さった皆さんへのご報告とお礼の言葉とさせていただきます。